

令和8年度
武水別神社神官松田邸企画展

天正壬午の乱

本能寺の変後の 松田氏と屋代氏

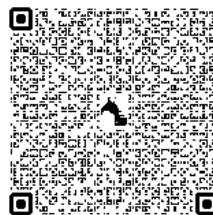
右上から時計回りに

- ・天正11年3月14日徳川家康自筆書状
(屋代家文書/千曲市指定文化財)
- ・屋代秀正覚書(長野県立歴史館蔵)
- ・(天正10年)9月19日徳川家康書状
(屋代家文書/千曲市指定文化財)
- ・天正12年5月17日上杉景勝朱印状
(松田家文書)
- ・(天正10年)8月12日上杉景勝書状
(屋代家文書/千曲市指定文化財)

令和8年

9.25(金) — 11.22(日)

開館日 : 金曜日・土曜日・日曜日
開館時間 : 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料 : 一般300円(250円)、高校生150円(100円)、中学生以下無料
カッコ内は団体見学科金(団体は20名以上)
交通案内 : 電車 しなの鉄道「屋代駅」から車で約10分
篠ノ井線「姨捨駅」又は「稲荷山駅」から車で約8分
車 長野自動車道更埴インターチェンジから車で約10分
長野自動車道姨捨サービスエリアから車で約10分
バス 市内循環バス 大循環線「ちくま号」又は姨捨線
「めいげつ号」八幡(武水別神社神官松田邸前)停留所下車徒歩1分



周辺地図
(Googleマップに移動します)



企画展
ホームページ

千曲市武水別神社神官松田邸

〒387-0023 長野県千曲市大字八幡3033-25
電話 : 026-247-8760 FAX : 026-247-8761



天正10年(1582)は信濃にとって激動の一年でした。3月に甲斐の武田氏が織田信長に攻められて滅亡し、そのわずか3か月後の6月には、本能寺の変により織田信長が死去したことで織田政権が崩壊し、信濃国内は大きく混乱しました。近年の研究では、この激動の一年を、天正10年の干支が「壬午」であることを踏まえて「天正壬午の乱」と呼んでいます。

天正壬午の乱のなかで信濃は、越後の上杉景勝、三河の徳川家康、小田原の北条氏直などの戦国大名による領土拡張戦争の格好の草刈り場となりました。ただし注意しておきたいのは、信濃国内に土着し所領を持つ国衆と呼ばれる武士たちも、武田氏・織田氏の縛りがなくなった隙に乗じて、所領の拡大を図ろうと動き出していたことです。先にあげた戦国大名は、こうした国衆の動向を見据えつつ、みずからの陣営に取り込むことで領土拡張戦争を有利に進めようとしていました。

国衆は、現在の千曲市域にあたる更級郡・埴科郡にも多くいましたが、そのうち現在も古文書が残り、その動向を具体的に知ることができるのが、松田氏(更級郡)と屋代氏(埴科郡)です。

まず松田氏は、更級郡八幡宮(現在の武水別神社)の神主をつとめながら武士としても活動した神官的武士です。天正壬午の乱における松田氏の活動の詳細は不明ですが、「信州八幡松田一跡」が遠山氏や屋代氏に与えられていることから、戦乱のなかで姿を消してしまった可能性があります。しかしその後、天正12年(1584)には、安曇郡日岐城を拠点に上杉景勝の家臣として活動していた仁科氏が松田名跡を継承し、仁科松田氏として「松田家」は再興されます。

次に屋代氏は、村上氏一族で、埴科郡の屋代城や荒砥城を拠点に活動していました。上杉景勝にも重用され海津城の城将もつとめました。天正壬午の乱における屋代氏の動向は、景勝・家康・氏直の戦略に大きな影響を与えました。戦国時代に主君を変えつつ縦横に活躍した国衆といえば、真田昌幸が思い浮かびますが、屋代氏もそれに匹敵するほどのキーパーソンでした。

今回の展示では「松田家文書」「屋代家文書」を中心に、関連史料もあわせながら、天正壬午の乱における松田氏と屋代氏の動向を探ります。※なお、本展覧会では、天正10年以後も「天正壬午の乱」として扱っています。ご了承ください。

関連事業(いずれも詳細についてはホームページをご覧ください)

① 松田邸講座「戦国時代の古文書を読む」(定員30人・先着順)

日時：10月10日(土)午後1時30分～午後3時

会場：武水別神社神官松田邸

講師：武水別神社神官松田邸学芸員(展示担当者)

受講費：無料(ただし観覧料が必要となります。一般300円、高校生150円)

申込方法：9月4日(金)から10月4日(日)までに、松田邸に電話(026-247-8760)または窓口に直接。定員になり次第締切

② 屋代秀正の居城・屋代城をめぐる(定員20人・先着順)

日時：11月14日(土)午前9時30分～正午

案内：一重山みらい会議

参加費：50円(保険料／イベント当日に徴収) ※つり銭のないようにご準備ください。

申込方法：10月2日(金)から11月8日(日)までに、松田邸に電話(026-247-8760)または窓口に直接。定員になり次第締切

その他：集合場所・時間、駐車場所等の詳細は、後日参加者のみにご連絡します。

③ 展示担当者による解説会(下記日時に松田邸入口にお集まりください。※観覧料が必要となります)

日時：10月3日・17日・31日、11月21日(いずれも土曜日)午後1時30分から午後2時10分

※解説会終了後、希望者を対象に長野県史跡「武水別神社神主松田家館跡」の見学会(約20分)、一重山の民話「はなとり地蔵」の紙芝居(約15分)を開催します。

右上：屋代城跡(遠景)

(千曲市指定文化財)

右下：松田家館跡(上空から)

(長野県史跡)

左上：荒砥城跡

左下：伝・稲荷山城跡